

地域を守る農林業関係者への激励作文講評

部門	受賞名	作文題名	受賞者氏名	学校名学年または 居住都道府県	講評
小学生・中学生部門	最優秀賞	農林業の復興応援文	石井 權	添川小学校 5年	「緑の少年団」の植樹活動を通し、自然と人間との共生、また身近に林業・農作業を目にしてきた筆者は、学校で森林と酸素供給、農業と食糧自給の関係などを学ぶとともに、田植え・草取り・稲刈りなどの体験学習を通してその労苦を実感。農・林業従事者が減少する中、その重要性を自身の問題として考える。昨年8月の洪水被害の影響とその復興に取り組む関係者の姿が、将来その役割を担うことを筆者に改めて促した強い思いが伝わる。
小学生・中学生部門	優秀賞	農家、林業の方々へ	安部 倅平	飯豊中学校 3年	豪雨災害の恐怖が伝わり、かつ、農家の子どもとしての自覚に感動しました。豪雨災害の翌日、父親とともに水田の被害を見回りに行き、父親の「泣きたくなる」という暗い落胆した様子をつづっていました。その思いは他の農林業者への思いにつながり、農林業の将来の担い手を自覚するような農林業者へのエールの熱さを感じる作文でした。字数にはまだまだ余裕があったので、町の復興における農林業の新たなチャレンジに、若者の視点からの大胆な夢が語られているともっと良いと思いました。
小学生・中学生部門	優秀賞	飯豊が一つになれた一年	志田 岳翔	飯豊中学校 3年	昨年8月の洪水被害、土石流は山の緑を一挙に剥ぎ、緑の水田は流木、泥に沈み一夜にして土色に帰した光景を眼前にした筆者が、次に目にしたのはその甚大な災害に落ち込むことなく、一丸となって復興に取り組む町民の姿だった。自然相手の農林業に根差した飯豊の風土がその背景にあると気づいた筆者は、自身も将来、町民の一人としてその仲間入りを宣言、その力強い一文。「災い転じて福となす」、災害は一人の若者の意識を変えた。

小学生・中学生部門	審査委員会 特別賞	毎日の食卓	藤川美咲	飯豊中学校 3年	<p>移住による新規就農で懸命に働く両親の姿を間近に見ながら生活していなければこのような文章を書くことは難しい。収穫した農産物を丁寧に袋詰めする日常の労働への尊敬と、豪雨災害によって一瞬にして喪失してしまった事態への驚き、再起は可能か、父母を思いやる作者の気持ちにはとても胸を打つものがあります。毎日の食卓に届くご飯や野菜に視線が移り、感謝で結んでいます。文章構成にも抜群の才能を感じさせる作品です。</p>
小学生・中学生部門	審査委員会 特別賞	自然を守ってくれている農林業関係者の方々へ	小関彩愛	飯豊中学校 1年	<p>読みやすい字でテーマに関して総合的に考えて整理した模範的ともいえる作文でした。災害の状況、怖さ、農業被害、農業、林業のかかわる人たちへの心温まるいたわりと激励の言葉がつづられていました。タイトルにある町の守るべき自然の多くは林業によって成り立つ森林です。その森林が荒廃し豪雨災害の要因ともなりました。この点を今後考えていくことや、森林を保全し活用する人達をどう育てて行くかという難しい課題についても調べ考えてみることを期待しています。</p>
高校生・一般部門	審査委員会 特別賞	素晴らしい“故郷”を共に守るため	鈴木茉菜緒	東京都在住	<p>私たちは「日本で最も美しい村」連合に加盟し、小さくても輝く魅力があり、地域資源を活かした住民参加のまちづくりを進めてきました。そこでいつも問い続けてきたのは「美しさ」とは何かということです。その答えが、述べられています。農業を生業としそれを支える人々の努力と愛情、人と人とのつながり、その姿に共鳴し、自分の生活との関わりに思いをはせて、素晴らしい故郷を共に守り発展させたいとする感性が新鮮。</p>